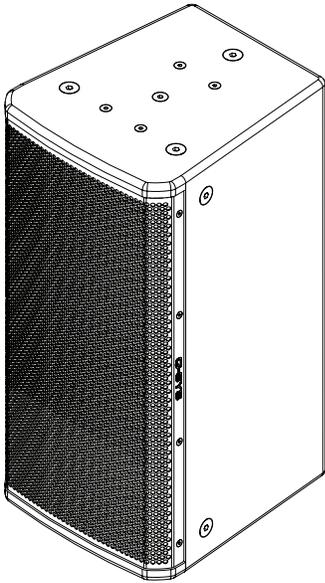
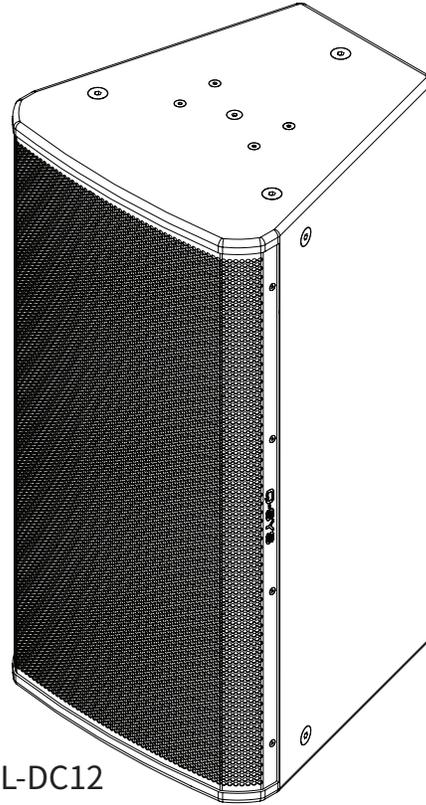


PL-DC シリーズユーザーマニュアル

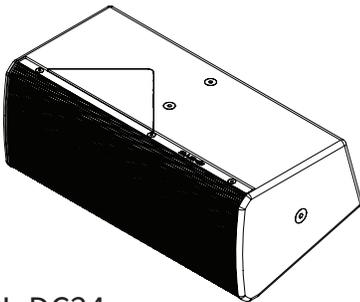
2ウェイパッシブポイントソースラウドスピーカー



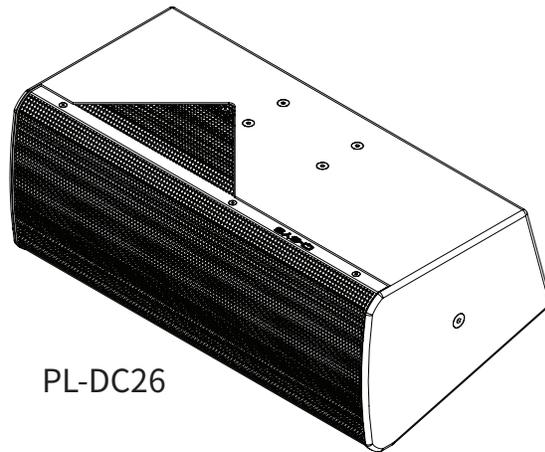
PL-DC8



PL-DC12



PL-DC24



PL-DC26



目次

記号の説明	4
安全性に関する重要な指示	4
RoHS指令	5
安全規則と保護等級:	5
吊り下げに関する一般規則	5
衝撃荷重	6
はじめに	7
主な特長と技術	7
屋外での配置	7
同梱物	8
PL-DC8スピーカー	8
PL-DC12ラウドスピーカー	8
PL-DC24ラウドスピーカー	9
PL-DC26 ラウドスピーカー	9
アクセサリ	10
PL-DC8の特長	11
PL-DC12の特長	12
PL-DC24 デュアル4インチ2ウェイ指向性コントロール 110°x50°ラウドスピーカー	13
PL-DC26 デュアル6インチ2ウェイ指向性コントロール設定可能ラウドスピーカー	14
取り付けオプション	15
ホーンの設定	16
指向性	16
ホーンの回転	17
指向性の変更	18
配置	19
PL-DC24	19
PL-DC26	19
PL-DC8/PL-DC12	19
アクセサリ	19
ヨークマウント	19
フラッシュマウント(表面取り付け)	20
天井取り付け(水平)	20
天井取り付け(垂直)	20
壁取り付け	20
床取り付け	20
M10吊り下げポイント	21
サードパーティー製取り付けアーム	22

入力接続	23
オプションの入力接続カバーの取り付け	23
ウェザーカバーを使用する	23
パッシブモードからバイアンプモードへの変更.....	24
システムアンプ.....	25
システム処理.....	25
チャンネルごとのラウドスピーカーのシステムパワー	25
ナレッジベース	26
カスタマーサポート	26
保証	26

記号の説明

用語「警告!」 作業者の安全に関する指示です。これらの指示に従わないと、怪我をしたり、死に至る可能性があります。

用語「注意!」 物理的な機器への損傷の可能性に関する指示です。これらの指示に従わないと、保証の対象とならない機器への損傷が生じる可能性があります。

用語「重要!」 手順を遂行するための重要な指示または情報です。

用語「注記」は、役に立つ付加情報です。



三角形の中の矢印記号の付いた稲妻マークは、人が感電するリスクとなるような絶縁されていない危険な電圧が製品エンクロージャーに存在することをユーザーに対して注意喚起しています。



三角形の中の感嘆符は、マニュアル内において安全性、操作および保守整備に関する重要な指示があることをユーザーに対して注意喚起するものです。



安全性に関する重要な指示



警告!: 1人でラウドスピーカーを持ち上げることはできますが、持ち上げる際に正しい方法で行うことが重要です。参考文献: OSHA技術マニュアル (OTM) > 腰の障害及び損傷: <https://www.osha.gov/otm/>

1. この指示書を読み、守り、保管してください。
2. すべての警告に従ってください。
3. 乾いた布のみを使って清掃してください。
4. 熱を発生するラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の器具（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
5. メーカー指定の付属品／アクセサリのみを使用してください。
6. すべての整備は、資格を持つ整備士に依頼してください。
7. 現地のすべての適用基準に従ってください。
8. 物理的な機器の設置に関して懸念や疑問が生じた場合は、認可を受けた専門技術者に相談してください。
9. 本製品の吊り下げは、安全なリギング作業手順に従って有資格者が行ってください。その他の制限が適用される場合があります。
10. 本取扱説明書の指示に従い、本製品に使用することを意図した推奨システム構成部品と吊り金具のみを使用してください。



警告! 設置説明書をよく読み、それに従ってください。これらの製品が適切に吊り下げられていない場合、落下して人身事故や死亡事故、装置の損傷を引き起こす可能性があります。吊り方については取扱説明書を参照してください。

RoHS指令

Q-SYS PLシリーズラウドスピーカーは欧州RoHS指令に準拠しています。

Q-SYS PLシリーズラウドスピーカーは「中国RoHS」指令に準拠しています。以下の表は、中国およびその地域で製品を使用するためのものです。

部名称 (部品名)	Q-SYS PL シリーズラウドスピーカー					
	有害物質 (有害物質)					
	鉛 (鉛)	汞 (水銀)	銅 (カドミウム)	六価鉻 (六価クロム)	多溴联苯 (多臭素化ビフェニル)	多溴二苯醚 (ポリ臭素化ジフェニルエーテル)
电路板组件 (PCBアセンブリ)	X	O	O	O	O	O
机壳装配件 (シャーシアセンブリ)	X	O	O	O	O	O

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。

(目前由于技术或经济的原因暂时无法实现替代或减量化。)

この表は、SJ/T 11364の要件に従って作成されています。

O: 該当部品の均一材料すべてにおいて該当物質の濃度が、GB/T 26572に規定される関連しきい値よりも低いことを示しています。

X: 該当部品の均一材料のうち、少なくともいずれか一つにおいて、該当物質の濃度が、GB/T 26572に規定される関連しきい値よりも高いことを示しています。

(同梱物の交換および削減は、技術的または経済的な理由で、現在実現できません。)

安全規則と保護等級:

本マニュアルに記載されている製品構成は、以下の規制および規格に準拠するよう設計およびテストされています:

- 2001/95/EC 一般製品安全指令
- EN 62368-1
- IEC 60529 IP54

吊り下げに関する一般規則

- 音響システムを設置する管轄区域の免許を持つ、専門の機械技術者または構造技術者に相談し、建物や構造物へのすべての取り付けを確認、検証、承認してもらってください。
- 機器の吊り上げ、位置決め、支持構造物への取り付けは、認定を受けた専門の取り付け技術者に依頼してください。
- 音響システムの吊り下げと配置には、すべての吊り金具と部品を正しく使用することが不可欠です。
- 機器を吊り下げる会場の吊り荷重に関する要件を十分に理解するために、地域の法規制を参照してください。
- ラウドスピーカーを配置する際は、専用のPL-DCアクセサリのみを使用してください。詳細は以下をご覧ください。
- 吊り下げられた荷重を支える構造部材の完全性を確認してください。目に見えない構造部材には、目に見えない構造的弱点がある可能性があります。
- 思い込みは禁物です！ オーナーやサードパーティが用意した吊り具の取り付けポイントは、荷重を吊り下げるのに適切でない場合があります。
- 吊り上げる前に、必ずすべての構成部品（エンクロージャー、吊り下げブラケット、ピン、フレーム、ボルト、ナット、スリング、シャックルなど）に関して アセンブリの強度を低下させる可能性のある亀裂、摩耗、変形、腐食、欠落、緩み、破損部品がないかどうかを確認してください。摩耗した部品、欠陥のある部品、疑わしい部品はすべて廃棄し、新しい適切な定格荷重の部品と交換してください。

衝撃荷重

荷重が移動したり停止したりすると、その静荷重は増大します。急激な動きは、静荷重を数倍にすることがあります。これは「衝撃荷重」と呼ばれます。

衝撃荷重の影響は瞬時に現れることもあれば、検出されないこともあります。衝撃荷重に対する適切な準備には、入念な計画と、機器、吊り下げ、吊り上げの方法に関する知識が必要です。衝撃荷重は多くの場合、吊り上げと設置の結果生じますが、自然の力（風、地震など）により、静的荷重の数倍の衝撃荷重が生じることもあります。

衝撃荷重は機器や作業員に危険をもたらします。このため、構造物や吊り具には、吊り具の重量の数倍を支える能力が求められます。

はじめに

Q-SYS PL-DCファミリーは、エンターテイメント会場から企業の講堂まで、幅広い環境でプレミアムなサウンドを提供する指向性コントロール付きの2ウェイ、パッシブポイントソースラウドスピーカーです。4つのサイズ（デュアル4インチ、デュアル6インチ、8インチ、12インチ）があり、すべてのPL-DCモデルはステージフィル用やディレイ用として機能し、小型モデルはバルコニーの下に設置してカバーエリアを補完し、大型モデルはフロント・オブ・ハウス システムの一部として使用できます。さらに、デュアル4インチモデルは110°×50°の固定ホーンですが、3つの大型モデルはホーンの再設定が可能で、音を聴かせる場所をより自由に制御できます。PLシリーズパフォーマンスラウドスピーカーは、長年にわたって築き上げてきた高性能オーディオとQ-SYSのパワーと柔軟性を組み合わせ、統合されたオーディオ、ビデオ、コントロール体験を観客席用に提供します。

主な特長と技術

- 再設定および回転可能なハーフホーンアセンブリにより、左右対称または非対称のカバーエリアを実現。
- 最適な柔軟性を実現する4つのサイズ
- PL-DC26、PL-DC8、PL-DC12は再設定可能なホーンを提供
- 屋内および屋外の保護された環境用の耐候性 (IP54) エンクロージャー
- Q-SYS CX-Q 4チャンネルネットワークアンプと組み合わせることで、ボイスリングとフィルタセットをカスタマイズ
- 様々なスペースや会場の要件に対応できるように、複数の取り付けオプションを用意

屋外での配置

この機器は、保護された屋外環境で遭遇する気象条件に耐えるように設計されています。ラウドスピーカーを保護するため、必ずカバーの下に設置してください。海辺に近い環境や腐食の激しい場所への直接の設置はお勧めできません。

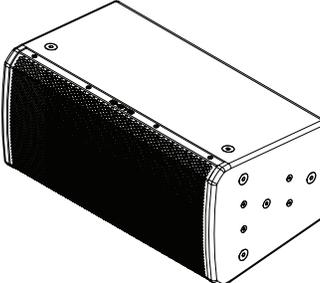
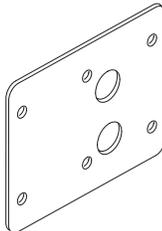
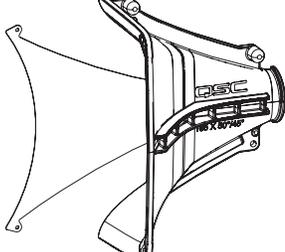
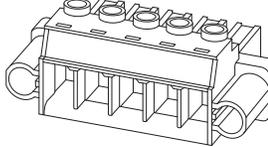
グリルはメッシュで保護され、ポートへの水の浸入を防ぎますが、ラウドスピーカーを下方に5°傾けて設置し、浸水した水が重力によってラウドスピーカーの外に出るようをお勧めします。

このラウドスピーカーの特長は以下の通りです：

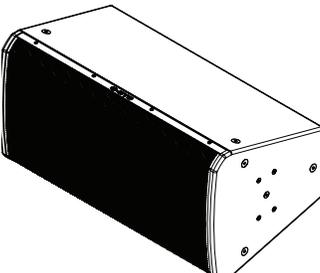
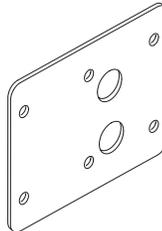
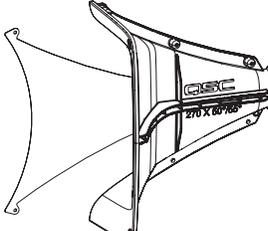
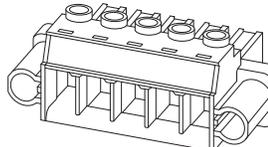
- IP54
- 外部合板
- ステンレスネジ
- 紫外線と腐食に強い処理済みグリル
- グリル裏の撥水性ステンレスメッシュ
- ポリウレア塗料
- 入力カップ (IP65) シール付きのグランド

同梱物

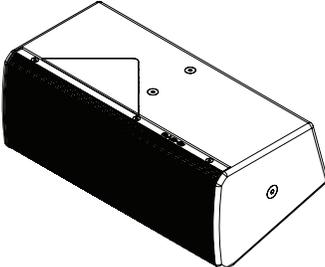
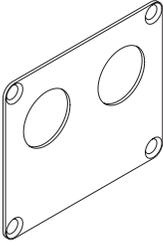
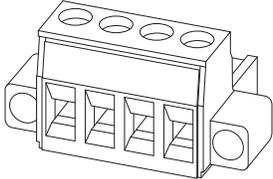
PL-DC8 スピーカー

	<p>(1) PL-DC8ラウドスピーカー 120×50ホーン (SG-000741-01) 付き</p>		<p>(1) SG-000740-01 IP65入力カバー (6) SC-000814-01 入力カバー用ネジ M4 (1) 穴カバー LB-004261-20</p>
	<p>SG-000744-01 (1) ホーンディバイダー (4) ガスケット (2) ハーフホーン 90 x 50 (4) SC-000509-00 ハーフホーン用ネジ M3.5 (4) SC-000770-01 ホーンフレームネジ M4</p>		<p>(1) CO-000981-01 コネクタ4極</p>
	<p>(1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明</p>		<p>(1) 保証書</p>

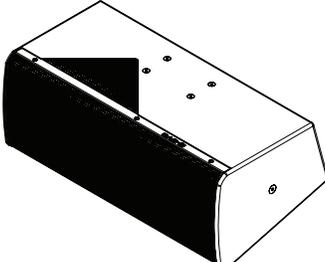
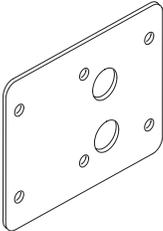
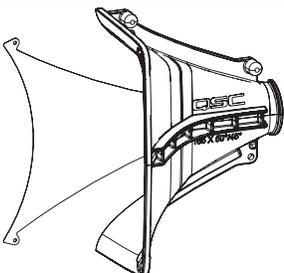
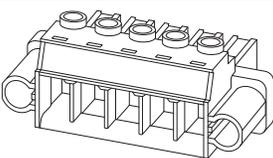
PL-DC12 ラウドスピーカー

	<p>(1) PL-DC12ラウドスピーカー 90×50ホーン (SG-000759-01) 付き</p>		<p>(1) SG-000740-01 IP65入力カバー (6) SC-000814-01 入力カバー用ネジ (1) 穴カバー LB-004261-20</p>
	<p>(1) ホーンディバイダー (4) ガスケット (2) ハーフホーン 110 x 50* (2) ハーフホーン 70 x 50** (10) SC-000770-01 ホーンフレーム用 ネジ M4</p>		<p>(1) CO-000981-01 コネクタ4極</p>
	<p>(1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明</p>		<p>(1) 保証書</p>

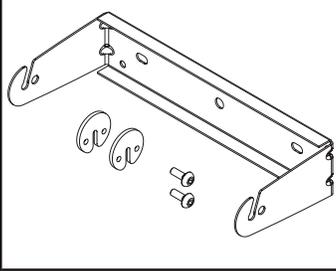
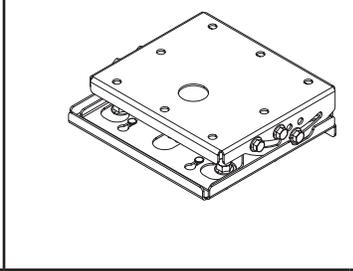
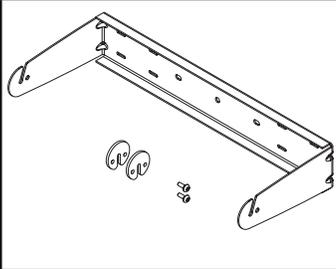
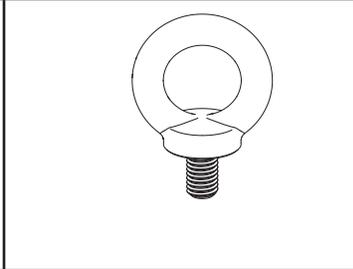
PL-DC24 ラウドスピーカー

	<p>(1) PL-DC24 ラウドスピーカー</p>		<p>(1) SG-000736-01 IP65入力カバー</p> <p>(4) SC-000814-01 入力カバー用ネジ</p> <p>(1) ラベル、カバー LB-004254</p>
	<p>(1) CO-000649-00 コネクタ4極</p>		<p>(1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明</p>
			<p>(1) 保証書</p>

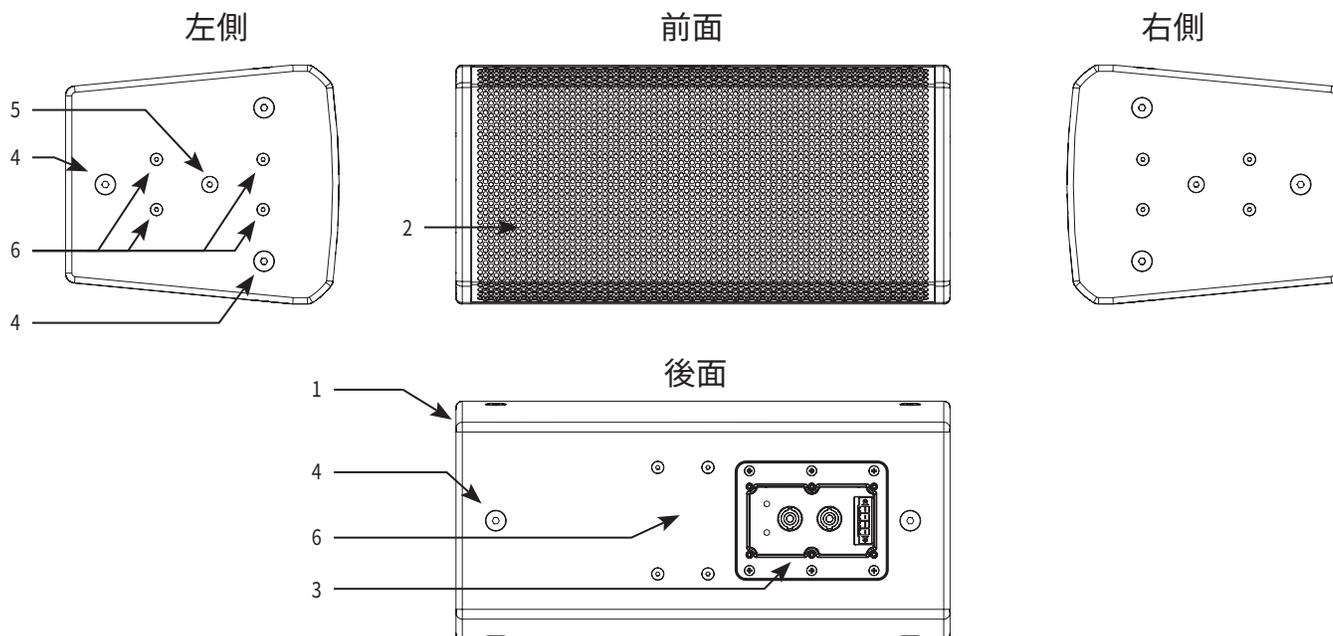
PL-DC26ラウドスピーカー

	<p>(1) PL-DC26 ラウドスピーカー</p> <p>120×50ホーン (SG-000741-01) 付き</p>		<p>(1) SG-000740-01 IP65入力カバー</p> <p>(6) SC-000814-01 入力カバー用ネジ</p> <p>(1) 穴カバー LB-004261-20</p>
	<p>SG-000744-01 (1) ホーンデ ィバイダー (4) ガスケット (2) ハーフホーン 90 x 50</p> <p>(4) SC-000509-00 ハーフホーン用ネジ M3.5</p> <p>(4) SC-000770-01 ホーンフレームネジ M4</p>		<p>(1) CO-000981-01 コネクタ4極</p>
	<p>(1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明</p>		<p>(1) 保証書</p>

アクセサリ

	<p>(1) ヨークマウント PL-DC24-YM</p> <p>(2) PL-003529-01 ゴム製スペーサー</p> <p>(2) SC-000826-01 ショルダーネジ</p>		<p>(1) フラッシュマウント PL-DC24-FM または PL- DC26-FM</p> <p>(2) SC-000840-01 M6-15 ネジ (DC24)</p> <p>(4) SC-000840-01 M6-15 ネジ (DC26)</p>
	<p>(1) ヨークマウント PL-DC8-YM、PL-DC12-YM、 または PL-DC26-YM</p> <p>(2) PL-003087-01 ゴム製スペーサー</p> <p>(2) SC-000826-02 ショルダーネジ</p>		<p>FG-000431-00 M10キットW</p> <p>(3) ショルダーアイボルト M10 35 mm-38 mm</p>

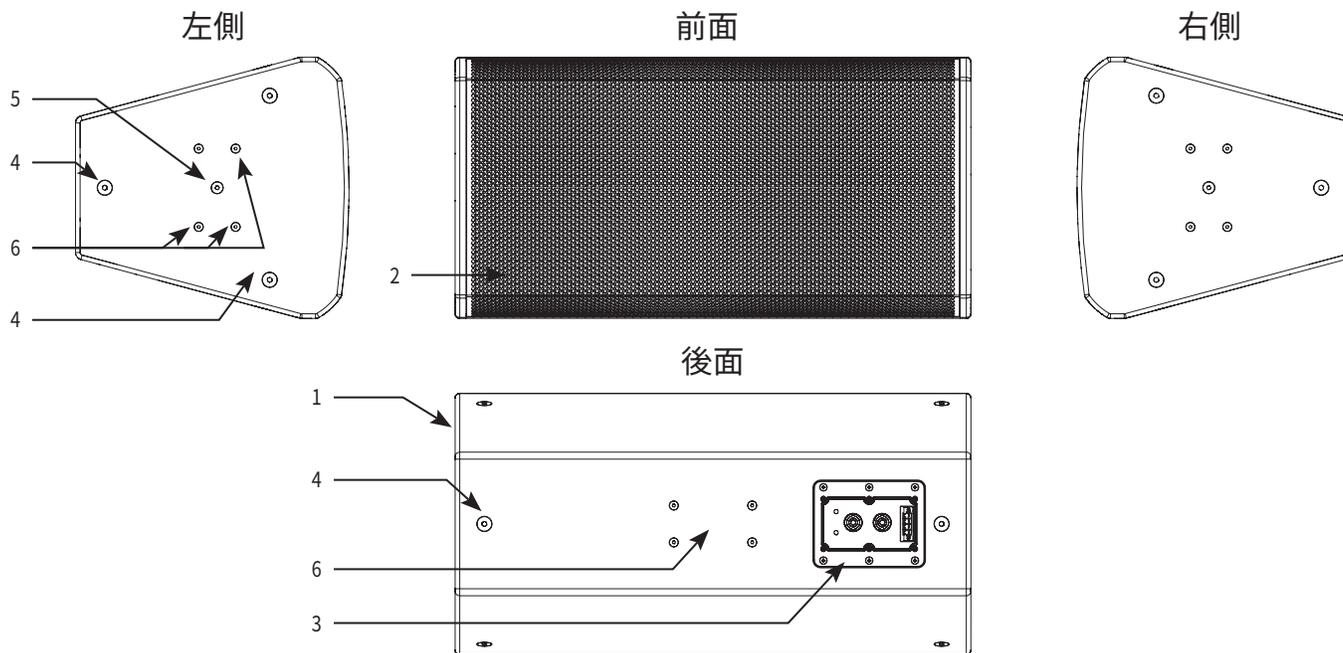
PL-DC8の特長



— 図 1 —

1. 木製エンクロージャー
2. 耐候性スチールグリル
3. リアパネル入力カップ
4. M10吊り下げポイント
5. ヨークリギングポイント
6. 4穴マウントパターン

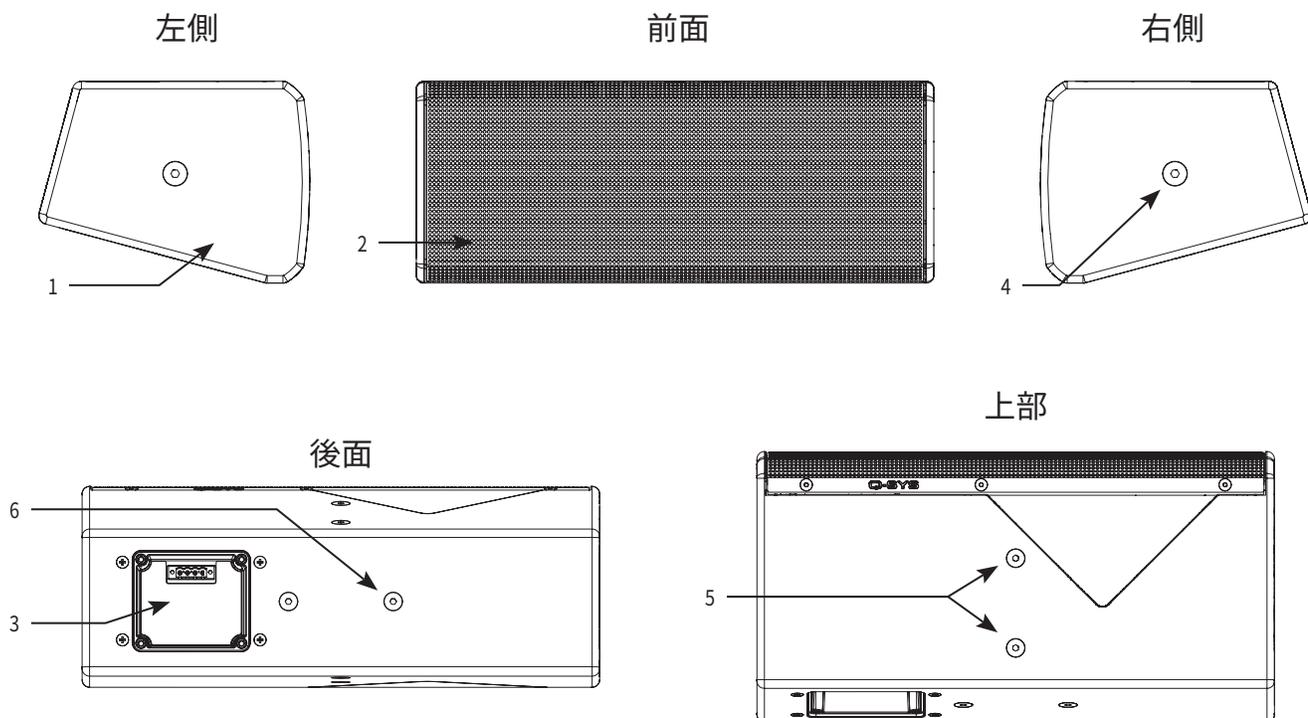
PL-DC12の特長



- 図 2 -

1. 木製エンクロージャー
2. 耐候性スチールグリル
3. リアパネル入力カップ
4. M10吊り下げポイント
5. M8ヨークリギングポイント
6. 4穴M6マウントパターン

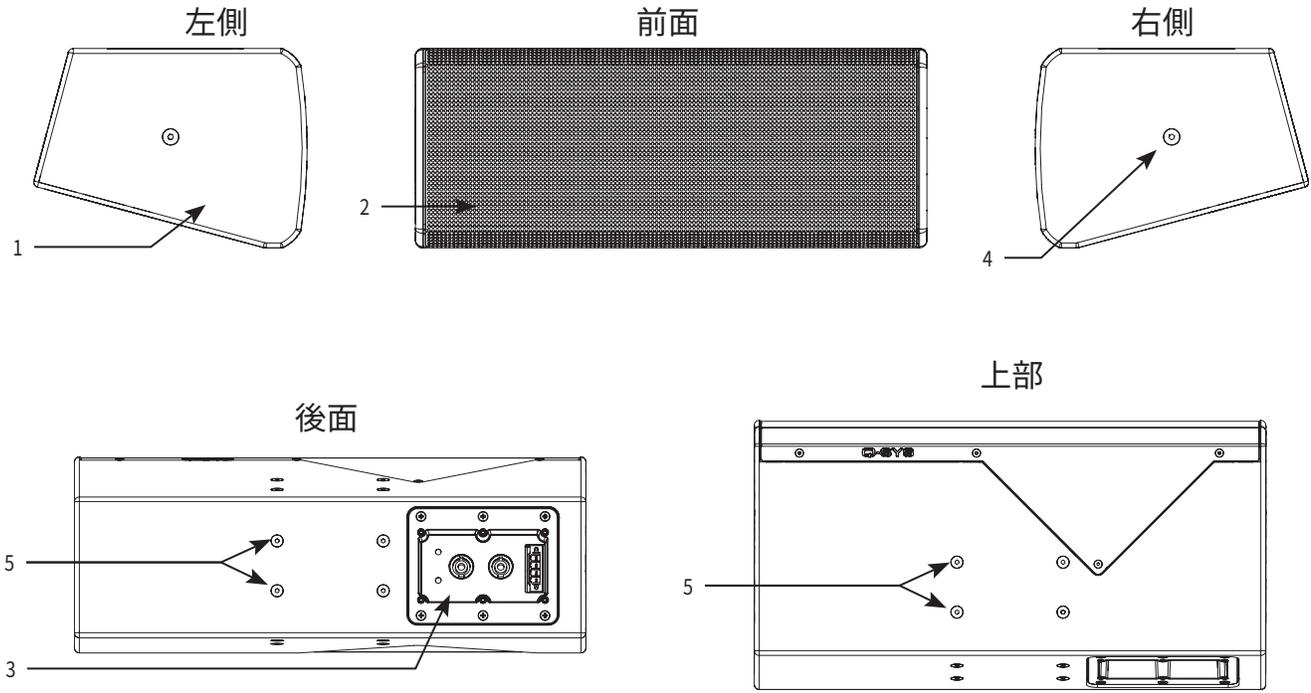
PL-DC24 デュアル4インチ2ウェイ指向性コントロール110°x50°ラウドスピーカー



- 図 3 -

1. 木製エンクロージャー
2. 耐候性スチールグリル
3. リアパネル入力カップ
4. ヨークリギングポイント
5. フラッシュマウントおよびサードパーティー製アクセサリ用60 mm取付パターン
6. フラッシュマウントおよびサードパーティー製アクセサリ用70 mm取付パターン

PL-DC26 デュアル6インチ2ウェイ指向性コントロール設定可能ラウドスピーカー

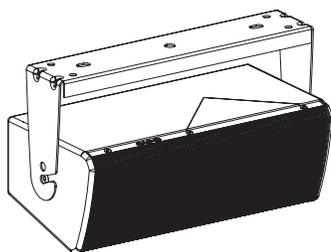


- 図 4 -

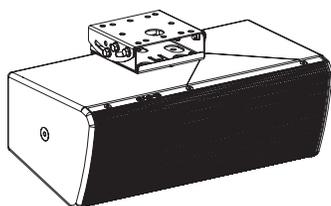
1. 木製エンクロージャー
2. 耐候性スチールグリル
3. リアパネル入力カップ
4. M8ヨークリギングポイント
5. フラッシュマウントおよびサードパーティー製アクセサリ用4穴M6マウントパターン

取り付けオプション

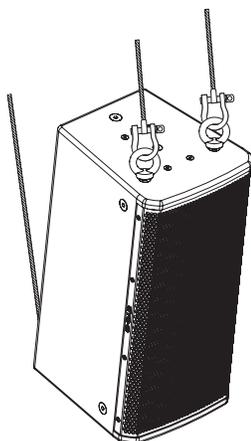
ヨークマウントについては19ページ 参照。



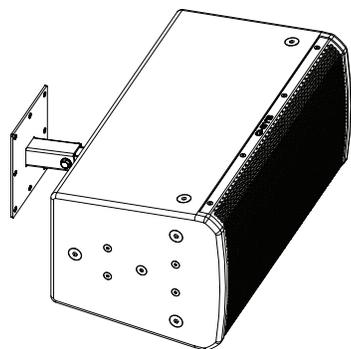
フラッシュマウント (PL-DC24およびPL-DC26のみ) については20ページ参照。



M10吊り下げポイントについては21ページ参照。



取り付けアーム (サードパーティー製アクセサリ) については21ページ参照。

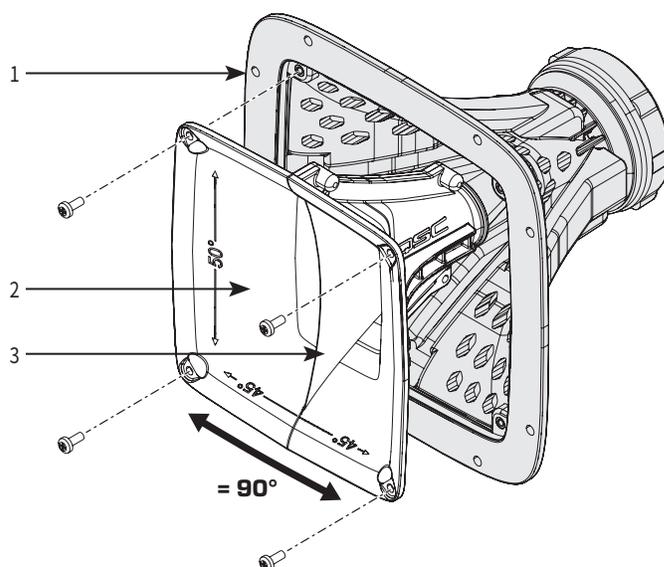


ホーンの設定

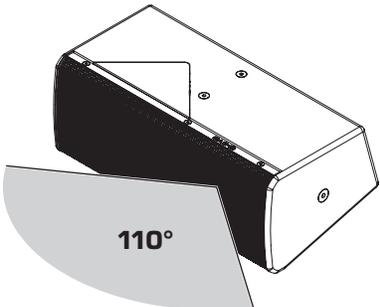
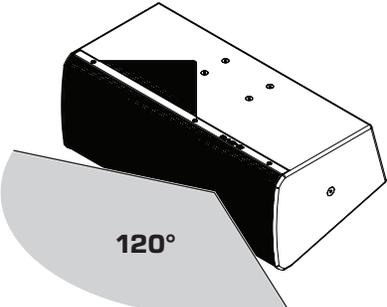
指向性の設定は、ディバイダーで区切られた2つのハーフホーンをフレームホルダーに挿入することで行われます。コンプレッションドライバーはこのフレームに固定されているため、回転させたり設定を変更する際に触れる必要はありません。異なるハーフホーンを選択することで、異なる指向性を実現することができます。

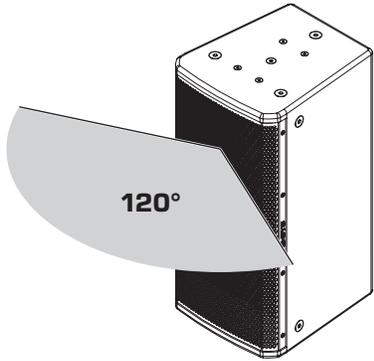
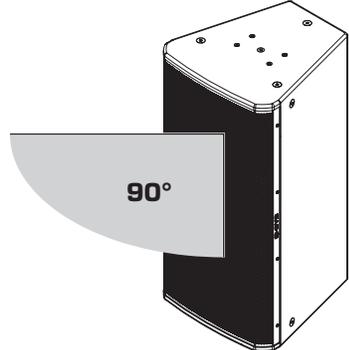
この例では、2つの45°ハーフホーンで90°の指向性を実現しています。もう一方の面の指向性は常に50°です。

1. フレーム
2. ハーフホーン
3. ディバイダー



指向性

モデル	初期設定	オプションの指向性
PL-DC24	110 x 50° 	なし
PL-DC26	120 x 50° (垂直配置) 	90 x 50° 105 x 50° 非対称 (ハーフホーン45 + ハーフホーン60)

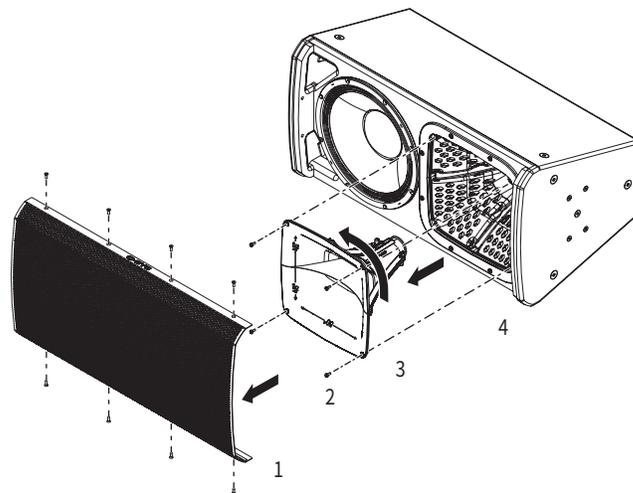
モデル	初期設定	オプションの指向性
PL-DC8	120 x 50° (水平配置) 	90 x 50° 105 x 50° 非対称 (ハーフホーン45° + ハーフホーン60°)
PL-DC12	90 x 50° 	左右対称: <ul style="list-style-type: none"> 70° x 50° 110° x 50° 左右非対称: <ul style="list-style-type: none"> 100° (55° + 45°) x 50° 90° (55° + 45°) x 50° 80° (45° + 35°) x 50°

ホーンの回転

1. ラウドスピーカー前面からグリルを取り外します。
2. ハーフホーンアセンブリを固定しているSC-000770-01 ネジ4本を外します。
3. ホーンを回転させます。
4. 1.4 N.m (12.4 lbs.in) の力でネジを再度組み立てます。



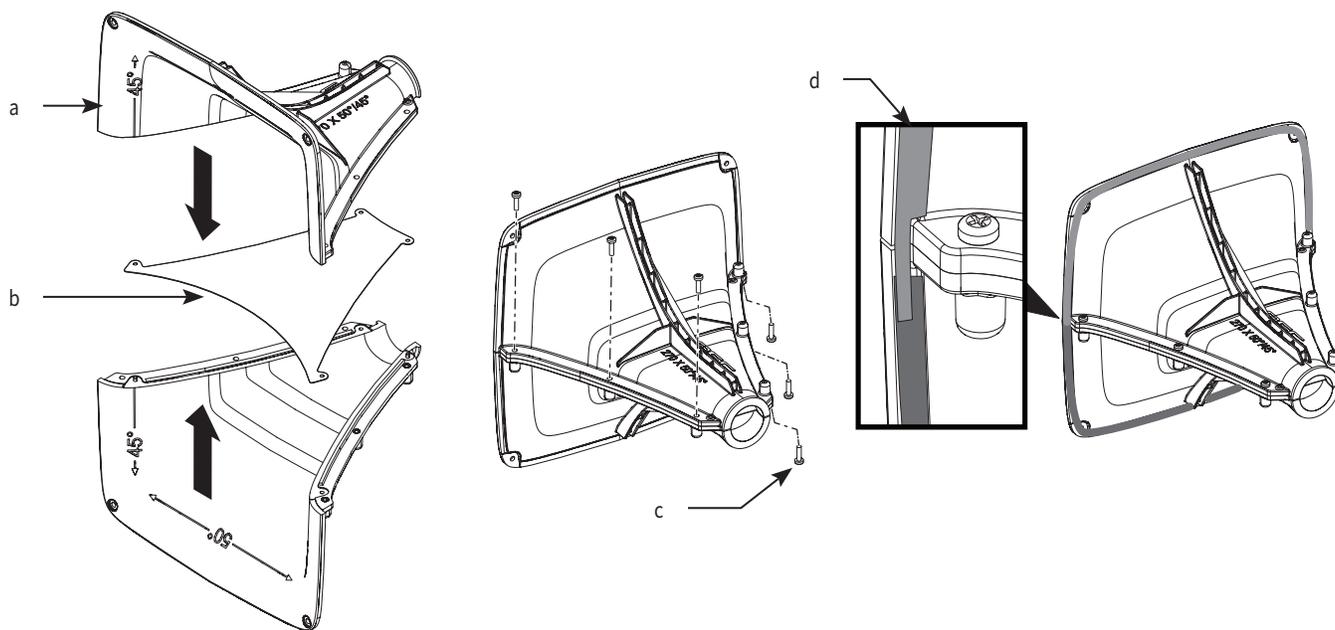
警告!!: フレームを固定している8本のネジを外す必要はありません。



- 図 5 -

指向性の変更

1. ラウドスピーカー前面からグリルを取り外します。
2. ホーンアセンブリを固定している SC-000770-01 ネジ 4 本を取り外します。(前ページのホーンの回転をご参照ください。)
3. ハーフホーンアセンブリを組み立てます。
 - a. 対応する2つのハーフホーンを選択します。
 - b. デバイダーを挿入します。
 - c. 同梱のSC-000509-00 M3.5ネジ4本 (PL-DC8、PL-DC26) またはSC-000770-01 M4ネジ6本 (PL-DC12) で締めます。(トルク 1 N.m (9 lbf.in))
 - d. 2つのガスケットをホーンとフレームの間に取り付けます。ガスケットは下図のように接合部で重なるようにしてください。
4. フレームにアセンブリを再度組み立てます。SC-000770-01ネジで締めます。(トルク 1.4 N.m (12.4 lbs.in))
5. アセンブリに音漏れがないことを確認します (1Vrmsで80Hzの正弦波を送ると、最終的な音漏れを良好に確認することができます)。



- 図 6 -

配置

PL-DCラウドスピーカーには、さまざまな取り付けオプションがあります。

PL-DC24

- 背面に70 mm (2.75 in)間隔でM6、2か所
- 上下に60mm (2.36 in)間隔でM6、2か所
- ヨークアタッチメントの重心に対して各側にM8、1か所

PL-DC26

- ヨークアタッチメントの重心に対して各側にM8、1か所
- 上面、底面、背面に2 x 4.25 in (50 x 108 mm)の寸法で4つのM6穴マウントパターン

注意: PL-DC24およびPL-DC26は、上部または下部にアタッチメントを取り付けることができ、非対称形状のため15度のオフセットが可能です。

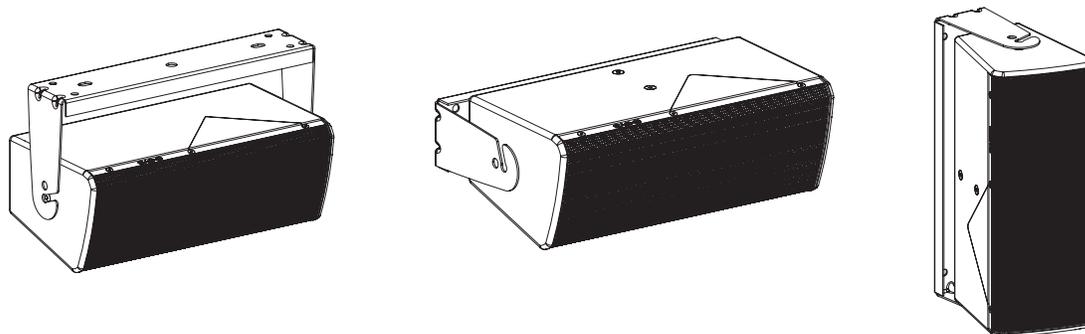
PL-DC8/PL-DC12

- 上下にM10、3か所
- 各側にM10、2か所
- 上面、底面、背面に2 x 4.25 in (108 x 50 mm)の寸法で4つのM6穴マウントパターン
- ヨークアタッチメントの重心に対して各側にM8、1か所

アクセサリ

ヨークマウント

ヨークマウントは、すべてのモデルPL-DC24-YM、PL-DC26-YM、PL-DC8-YM、PL-DC12-YMのオプションアクセサリとして利用でき、水平配置用に最適化されています。垂直配置も可能ですが、上下に傾けることはできません。

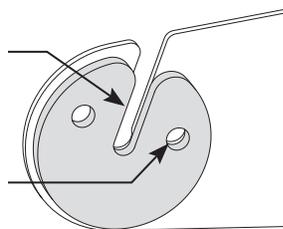


- 図 7 -

1. ラウドスピーカーのヨーク穴にM8ネジを挿入します。
2. ヨークを所定の位置に取り付けます。
3. M8ネジをブラケット溝にはめて、ラウドスピーカーをブラケットに掛けます。
4. 配線を接続します。
5. ラウドスピーカーの角度を決めます。
6. M8ネジを締めます。

このスロットを使用すると、素早くセットアップと撤収ができます。屋内設置用です。

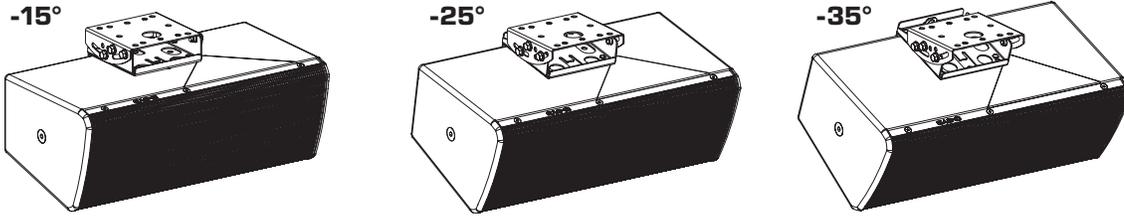
スピーカーを取り付け面に近づけるための穴です。屋外設置に使用します。



- 図 8 -

フラッシュマウント (表面取り付け)

PL-DC24-FMとPL-DC26-FMの2サイズがあります。



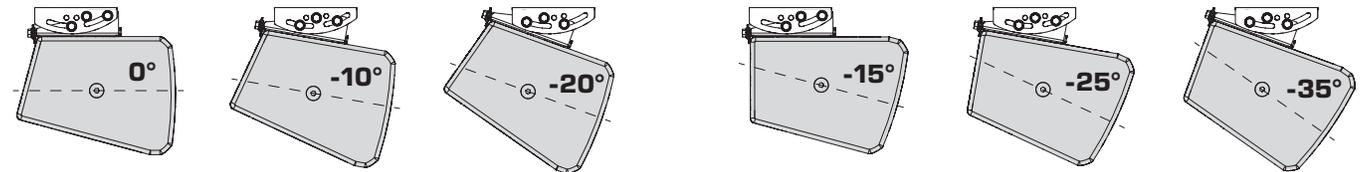
フラッシュマウント用アクセサリは、ラウドスピーカーを天井 (または壁) からできるだけ近い位置に取り付けられるように設計されており、ラウドスピーカーの上面、底面、または裏面に取り付けることができます。ラウドスピーカーの左右非対称の形状により、アクセサリを上部または下部のどちらに取り付けても、5度のオフセットが可能です。

このアクセサリは、3つの異なる角度に正確にロックできるように設計されていますが (ラウドスピーカーを反転させると6つの角度になります)、どの位置にも角度を付けることができます。

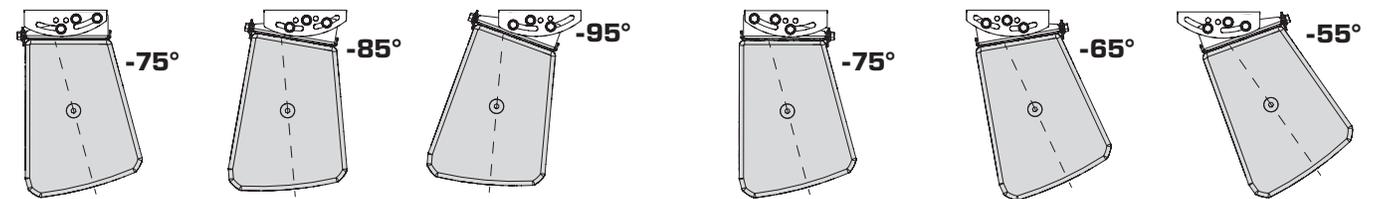
裏面に取り付けた場合は、壁取り付けや90度下向きの天井取り付けとして使用できます。

ステージ上でも使用できますが、単体では十分な安定性が得られないため、アクセサリをステージに固定する必要があります。

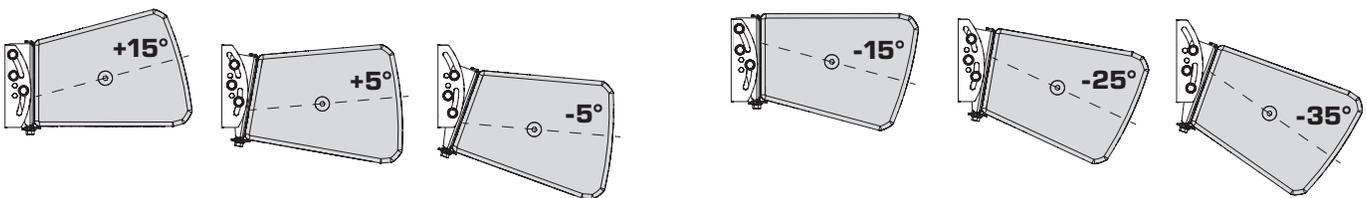
天井取り付け (水平)



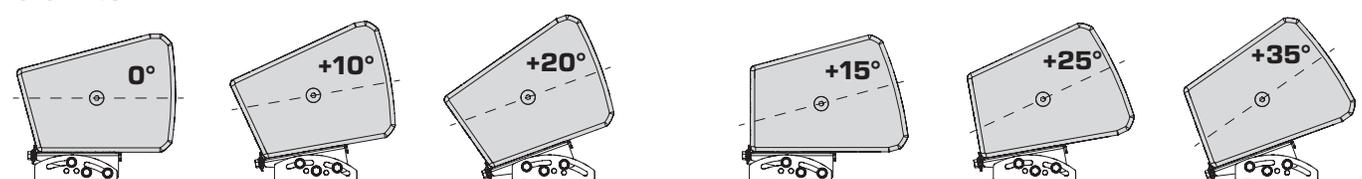
天井取り付け (垂直)



壁取り付け

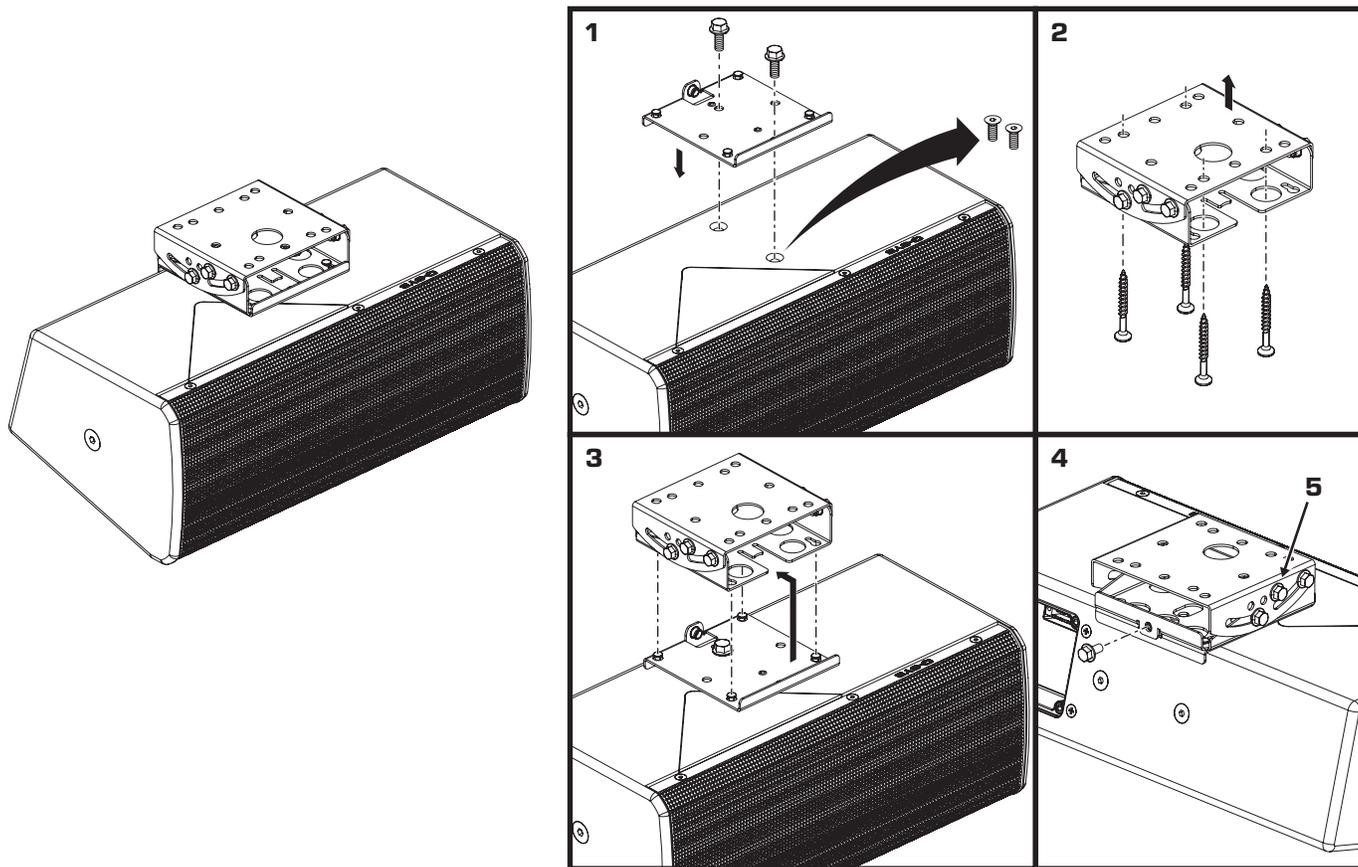


床取り付け



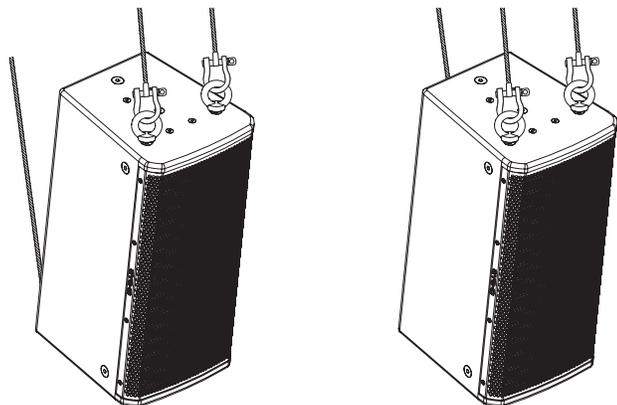
以下は、DC24用のフラッシュマウント用アクセサリの配置図です。PL-DC26は4つの穴パターンを使用するため、取り付け設定は多少異なりますが、全体的な原理は同じです。

1. ラウドスピーカーにオスのカギ穴を持つ部品を取り付けます。
2. アングルプレート天井に取り付けます。
3. ラウドスピーカーをカギ穴に取り付けます。
4. 背面で固定します。
5. 希望の角度の穴にネジを挿入し、2.8 N.m (25 lbs.in)で締めます。



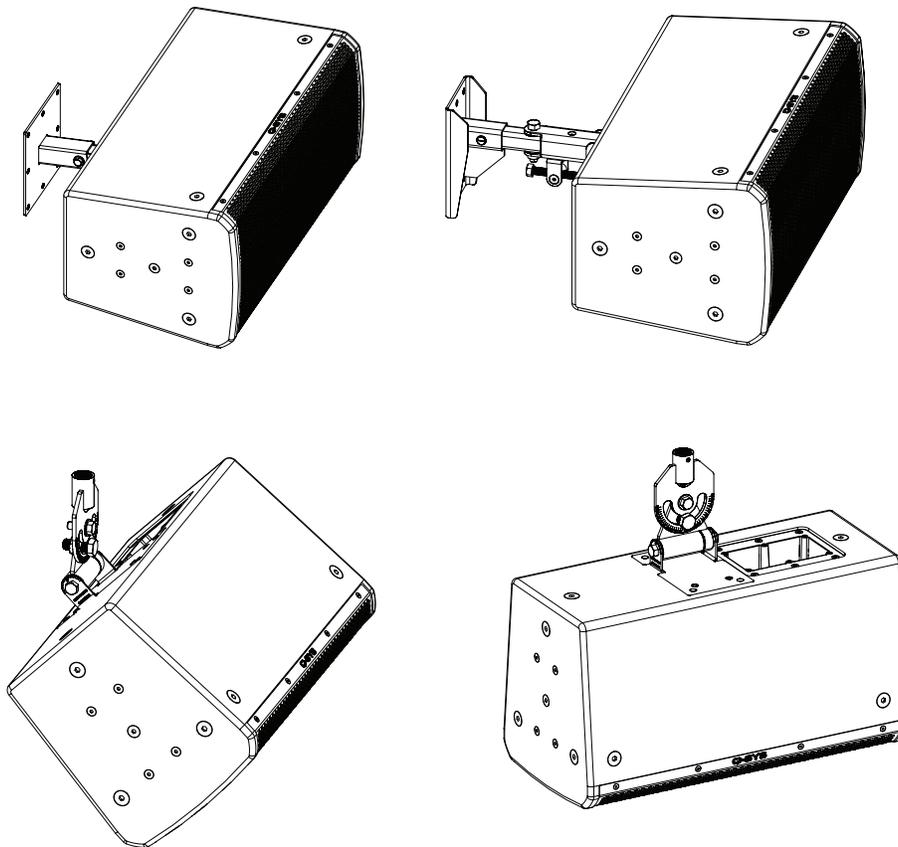
- 10 -

M10吊り下げポイント



サードパーティー製取り付けアーム

以下は、PL-DCラウドスピーカーに使用できる互換性のあるサードパーティー製マウントアームの例です。



- 11 -

入力接続

製品	コネクタ	仕様
PL-DC24	<ul style="list-style-type: none"> 1 ユーロブロックコネクタ 	<ul style="list-style-type: none"> 定格電流 12二乗平均平方根アンペア 単線 14 AWG (2.5 mm²) 4極 オス部をM3.5ネジで固定 コネクタは凹型で、IP65のシーリングプレートで覆うことができます。 このプレートにより、1個のグランドコネクタ (別売) が信号のINとOUTを通すことができます。 PL-DCの入力接続では、バイアンプモードには対応しておらず、ユーロブロックコネクタのみです。
PL-DC8 PL-DC12 PL-DC26	<ul style="list-style-type: none"> 1 ユーロブロックコネクタ (//~SPEAKON) 	<ul style="list-style-type: none"> 定格電流 32二乗平均平方根アンペア 単線 8-24 AWG (10mm²まで) 4極コネクタはバイアンプモードが可能ですが、デジチェーンTHRU接続には対応していません。このためにはSPEAKON NL4を使用するか、INとTHRUワイヤを同極に接続してください。 オス部をM3.5ネジで固定
	<ul style="list-style-type: none"> 2 x SPEAKON NL4 (ケーブルコネクタは付属していません) 	<ul style="list-style-type: none"> 固定 最大30二乗平均平方根アンペア 最大9-16 AWGゲージ (6 mm²まで) コネクタは並列に配線され、パッシブまたはバイアンプモードでのデジチェーンTHRUが可能です。
	<ul style="list-style-type: none"> 両コネクタは凹型で、IP65のシーリングプレートで覆うことができます。 このプレートにより、2個のグランドコネクタ (別売) が信号のINとOUTを通すことができます。 IP65シーリングは、EUROBLOCコネクタ使用時のみ可能です。 パッシブとバイアンプを切り替えるには、接続プレートを取り外し、内部のMOLEXコネクタを調整する必要があります。 	

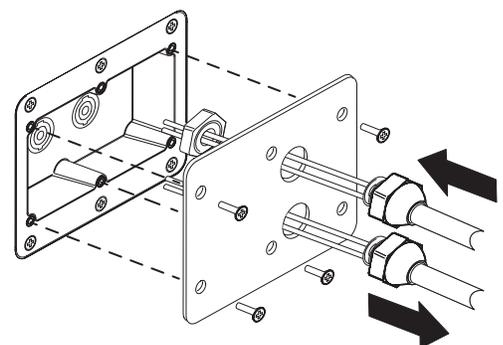
オプションの入力接続カバーの取り付け

ケーブルの直径は様々であるため、"ケーブルグランド" (直径22.5 mmの穴に適合) を別途調達する必要があります。

ラウドスピーカーには、入力カップ用のウェザーカバーが付属しており、入力接続部やスイッチを降水などの天候による危険から保護します。屋外に設置する場合、またはラウドスピーカーが湿気にさらされる可能性がある場合は、ウェザーカバーを使用してください。ケーブルグランド内の密閉性を確保するため、直径 0.37 インチ (9.4 mm) までの丸型ジャケットの屋外定格ケーブルを使用してください。

ウェザーカバーを使用する

1. ケーブルグランドのナットを緩めます。
2. ケーブルをナットとグランドの残りの部分に通します。
3. 入力コネクタをワイヤーに取り付けます (下記「入力コネクタ」参照)。
4. ラウドスピーカーのエンクロージャーを設置したら、入力コネクタをラウドスピーカーの入力カップに差し込みます。2つの留めねじ (両端に1つずつ) を使ってコネクタをラウドスピーカーに固定します。
5. カバーをラウドスピーカーの入力カップにかぶせ、付属のネジで取り付けます。
6. ケーブルに無理な力が加わらないようにします。グランド内のグロメットがケーブルの被覆に密着するまで、グランドナットを締めます。



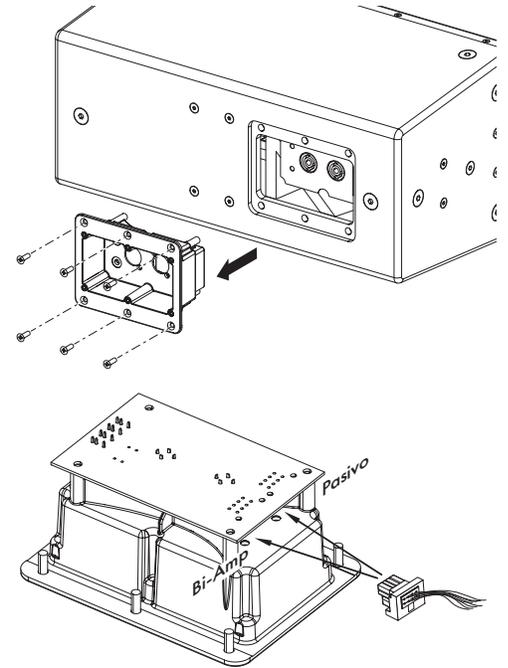
オプションの入力カバーは、SPEAKON NL4ではなく、ユーロブロックコネクタにのみ対応しています。

単一の終端のみが必要な場合は、余分な穴を塞ぐために穴カバーLB-004261-20 (PL-DC26-8-12) またはLB-004254 (PL-DC24) を使用してください。

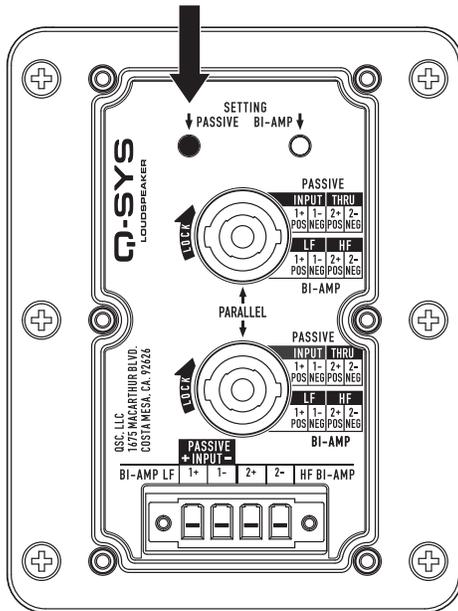
パッシブモードからバイアンプモードへの変更

パッシブモードからバイアンプ、またはバイアンプからパッシブモードに変更するには、以下の手順に従います。

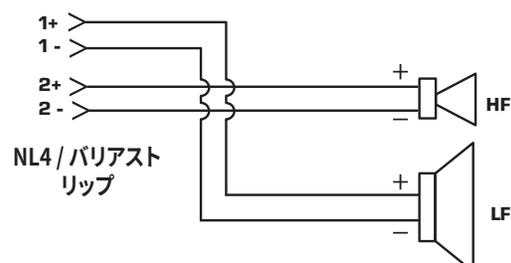
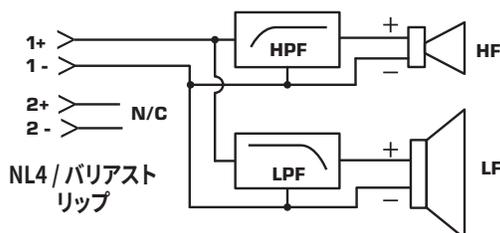
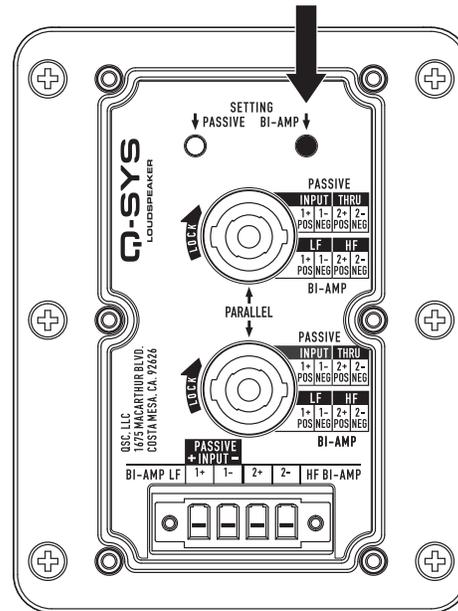
1. 入力カップを固定している6本のネジを外します。
2. 接続ワイヤーハーネスに余分な負荷がかからないように注意しながら、入力カップを取り外します。
3. カップ下部の受け口からワイヤーハーネスのプラグを取り外します。
4. ワイヤーハーネスのプラグをカップ底部の希望するモードの受け口に差し込みます。
5. 入力カップを裏返し、黄色が適切なSETTINGポートで見えることを確認してください。そうでない場合は、プラグを希望の受け口に移動させます。
6. 配線を束ねたり挟んだりしないように注意しながら、入力カップをエンクロージャーの所定の位置に注意深く戻します。
7. ステップ1で外した6本のネジで入力カップを固定します。



パッシブモード



バイアンプモード



システムアンプ

PLシリーズは、CXQアンプ（または将来の世代）と組み合わせて使用することを想定しています。正確なモデルは、用途、チャンネルあたりのラウドスピーカー数、ラウドスピーカーのタイプによって異なります。

バイアンプ・モード：すべてのHFを2K4で動作させることができます。HFとLFで異なるタイプのアンプを使用する場合は、ゲインに違いがあり、それを補正する必要があることを覚えておいてください。LFセクションには、パッシブモードと同じアンプが必要です。

システム処理

Q-SYS PLシリーズは、Q-SYS CoreプロセッサとCXQアンプのみで使用するよう設計されています。設定の説明については、Q-SYS Designer Softwareの文書(help.qsys.com)を参照してください。

チャンネルごとのラウドスピーカーのシステムパワー

ラウドスピーカー/チャンネル	CXQ 2K4	CXQ 4K4	CXQ 8K4
PL-DC24	2	3	4
PL-DC26	1	2	4
PL-DC8	1	2	4
PL-DC12	—	1	2
ゲイン (1.2 V 設定)	33 dB	35 dB	38 dB

注記：8チャンネルアンプは、4チャンネルアンプと同じDSPリソースを提供していません。このため、400～1kHzのEQ精度が損なわれることがあります。



ナレッジベース

よくある質問、トラブルシューティング情報、ヒント、アプリケーションノートへの回答をご覧ください。Q-SYSヘルプ、ソフトウェアとファームウェア、製品説明書、トレーニングビデオなどのサポートポリシーやリソースへのリンクもあります。サポートケースの作成も可能です。

support.qsys.com

カスタマーサポート

テクニカルサポートおよびカスタマーケアの電話番号と営業時間については、Q-SYSウェブサイトの「お問い合わせ」ページを参照してください。

qsys.com/contact-us/

保証

QSCの限定保証については、こちらをご覧ください：

qsys.com/support/warranty-statement/